

【プレスリリース】
2025年3月17日
株式会社OICグループ
有限会社アグリマインド

トマトの専門家、ITを駆使したスマート農業のアグリマインドがOICグループに参画。1次産業と海外展開の強化で「食品総合流通業」へ



「食生活♥♥（ラブラブ）ロピア」を中心に、食品の生産から製造・流通・小売・外食までを一貫して手がける「食品総合流通業」を展開する株式会社OIC（オイシー）グループ（以下、OICグループ）は、2025年2月21日（金）、トマト生産の専門家で、最先端スマート農業を展開する有限会社アグリマインド（以下、アグリマインド）と株式譲渡契約を行い、アグリマインドがOICグループに参画しました。

OICグループは、「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を通じて「食のテーマパーク」の実現を目指しています。アグリマインドは、セミクローズド温室やIoTのシステム・データ活用を通じて、青果物を市場に安定して供給してきました。両社は今回の取り組みを「食のサプライチェーンの持続可能なモデル」を実現する事業と位置付け、トマト以外の青果物への応用や、グループ内での「6次産業化」を通じて世界展開を目指すOICグループの世界観と一致し、参画に至りました。

今後両社は、アグリマインドの高度な農業生産技術と、OICグループが展開する多様な食に関する事業を組み合わせ、「食を通じて世界の人の生活をおいしい（OIC）食材で豊かにする」というコンセプトの下、共にアジア・世界を目指します。

トマトの専門家・最先端IoTスマート農業のアグリマインドがOICグループに参画

スーパーマーケット「食生活♥♥（ラブラブ）ロピア」をはじめ、「食品総合流通業」を展開する株式会社OICグループは、2025年2月21日（金）、最先端スマート農業を展開する有限会社アグリマインドと株式譲渡契約を行い、アグリマインドがOICグループへ参画しました。

OICグループは「食品総合流通業」として、生産から製造、貿易・卸、小売、外食まで幅広い事業を展開しています。そして、多様な事業を展開し、組み合わせることでシナジーを生み出し、人々が食を通じて楽しい体験をする「食のテーマパーク」の実現を目指しています。既に35社（アグリマインド含む）がグループ会社になっており、2031年度にはグループ会社100社、国内外合わせて売上高2兆円を目標としています。

このたび、アグリマインドとOICグループの「世界へ日本のおいしい（OIC、オイシー）ものを届けたい」という目標が一致し、参画に至りました。

トマトに関する高い専門性と、IoTを駆使した高度な農業生産技術を持つアグリマインドが、多様な食に関する事業を展開するOICグループへ参画することで、安定的で持続可能な青果物の供給が可能となり、商品開発力の強化、6次産業化、海外展開も見据えた新たな事業展開が期待されます。

スマート農業だから実現する、安定供給・低廃棄、持続可能な働き方

アグリマインドは2006年に創業し、2014年から山梨県北杜市でトマトのハウス栽培を行っています。

アグリマインドのトマト栽培は、IoTを活用した「セミクローズド温室」を活用し、安定的に作物を供給できる点が特長です。セミクローズド温室とは、半閉鎖型で窓が少ない温室で、システムを使って換気や二酸化炭素濃度などを制御し、蓄積したデータを基に生産を管理する施設です。

この仕組みを採用することで、天候に左右されずに、作付面積当たりの生産量を安定化させることができ、廃棄も大きく減らせます。また、システム化により8時間労働・土日休みの働き方が可能となり、継続的にビジネスを展開することができます。

青果生産の専門企業がOICグループに参画することで、生産から製造・流通・小売・外食まで、「食品総合流通業」の実現に向けてさらに前進します。



グループ全体のシナジーを生かし、OIC（オイシー）日本の食を世界へ

今後両社は、アグリマインドで栽培した高品質なトマトをロピアで販売するだけでなく、OICグループ全体のシナジーを生かし、OIC（オイシー）「食」をアジアはじめ世界に展開していきます。例えば以下のような事業展開を検討しています。

- ・ カカオ・バニラ・ナッツ・果樹等、システム化されていない青果物への応用
- ・ 生産のみならず、加工品の展開、シェフや飲食業とのコラボや外食・体験型サービスとの連携などを通じて、6次産業に挑戦する
- ・ 海外にIoTを活用したスマート農場を作り、その国で農産物を生産し、「created by OIC GROUP」のブランドで、その国の市場に出荷する
- ・ 農業生産システムのコンサルティングビジネスを海外に向けて展開し、日本の農産物を世界へ広めていく

有限会社アグリマインド代表取締役社長 藤巻 公史のコメント

アグリマインドは、トマトの分野で日本トップクラスの生産量を誇りますが、国内のマーケットが狭まっている中で、販路を広げたいと考えておりました。OICグループの「食」を通じた事業の可能性を感じ、またOICグループの「食」を通じたフィールドで海外でも挑戦できることに魅力を感じグループインしました。

【プレスリリース】
2025年3月17日
株式会社OICグループ
有限会社アグリマインド

株式会社OICグループ取締役 浜野 仁志のコメント

セミクローズド温室で安定的な供給ができるアグリマインドがグループインすることで、青果の持続可能な安定供給が可能となり、OICグループが目指す「食品総合流通業」に、より近づいたと思います。今後の店舗拡大で、青果物の確保が難しくなっていくことが予想されますが、首都圏に近い山梨県にあるということが大変魅力的でした。海外への展開時に「日本産の高品質でおいしい（OIC）商品を届ける」夢を一緒に追いかけていたいと思います。

有限会社アグリマインドについて

商号 : 有限会社アグリマインド
本社 : 山梨県北杜市明野町上手 13777
設立 : 2006年2月8日
代表取締役 : 藤巻公史
事業内容 : 農産物の生産、販売

OICグループについて

「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を、世界に届ける食品総合流通業を目指すOICグループは、1971年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。さらに現在では、小売事業の枠を超え、生産・製造事業、貿易・PB・卸事業、外食産業まで展開し、幅広い事業を通じて、「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を、世界に届ける「食のテーマパーク」を目指しています。日本国内のみならず、アジアで事業を拡大し、2031年度までに、売上高2兆円の実現を目標にしています。

商号 : 株式会社OICグループ
本社 : 神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地
設立 : 1971年4月28日
代表取締役 : 高木勇輔
売上高 : 4,126億円（2024年2月期）
事業内容 : 食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン惣菜・調味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出入・卸
店舗数 : 食品スーパーマーケット「ロピア」は全国19の都道府県と台湾で計115店舗（2025年3月17日時点）。首都圏を基盤としながらも、大阪や京都などの関西エリア、さらに中部エリアでも展開し、2023年は九州エリア、東北エリアへ進出。2024年は3月に沖縄県、8月に青森県、11月に北海道・静岡県へ新たに新店を出店した。